

## 森の植物や鳥・虫などの動物を紹介します

### 1. マンリョウ (万両) (ヤブコウジ科)

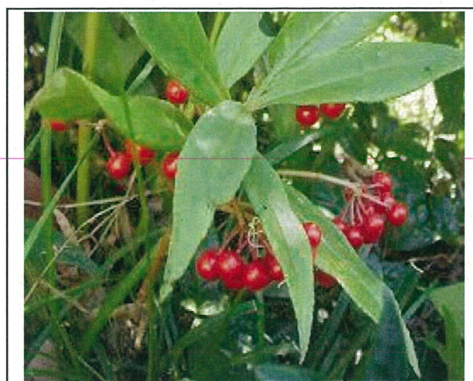
お正月があける寒い冬の時期「赤い実をつける」植物(樹木)は、子孫繁栄、商売繁盛、豊年満作につながると言われ、昔から人気があります。

特に名前が大金持ちを連想させるヤブコウジ科のマンリョウ(万両)は、背が1m以下の低木ですが、この時期葉の下に枝先から実をいっぱいにぶらさげます。

森ではマンリョウを植栽していませんが、鳥たちが他所で食べた種が糞にまじり森に落ちたのかあちこちの林内にマンリョウが生えてきました。



### 2. センリョウ、カラタチバナ、ヤブコウジ (以上ヤブコウジ科)、アリドウシ (アカネ科)



写真左はヤブコウジ科のセンリョウ(千両)で、マンリョウと違い葉の上にたくさんの実をつけます。写真右もヤブコウジ科のカラタチバナで少し実が少ないので百両に例えられています。写真左下はヤブコウジ科のヤブコウジで十両に、写真右下はアカネ科のアリドウシで一両に例えられます。昔から「千両万両有りどおし」という縁起の良い言葉がありますが、これらの赤い実をつける背の低い樹木達の語呂合わせです。

森には未だこの4種類の樹木が見当たりませんが、いずれ鳥たちが種を運んできそうです。

